

プログラム名	ストーンアート2		時間	1～2時間
ねらい	1 豊かな創造性を培うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 用具の安全な使用方法を体得する。 3 自然のものを使用することにより「玄海の家」での活動の思い出とする。			
活動内容	1 活動形態 → 個人、グループ（4～6名程度） 2 内容 → 海浜にある石の中で自分が思い描くかたちのものを探し出し、作品を制作する活動。			
対象	制限なし	活動可能人数	何人でも可	
展 開 例	<p>1 集 合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食堂売店に申し込みと事務室への連絡 ・指定された場所と時間に集合（入所時に確認） ・グループの場合は、グループごとに集合 ・参加人員と健康状態の把握 <p>2 事前指導（「玄海の家」指導員・約10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石拾いは「玄海の家」前海岸で実施（徒歩約5分）※活動前日が望ましい ・道具の確認 ・説明および諸注意（実施方法、安全、マナー等） <p>3 活 動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石を拾いにいく場合は「玄海の家」前海岸で拾ってきて洗う。 ・千代紙を石のかたちよりやや大きめに2枚切る。 ・切った千代紙の周りに切り込みを入れる。 ・水性木工用ボンドを水に溶いたものを切った千代紙の裏につけて、石の形にそってその千代紙を貼り付ける。もう1枚を反対側から貼り付ける。 ・石全体に千代紙を貼り付けた後、その上から再度水溶性木工用ボンドを塗って乾燥させ、つやを出す。（用途を発表させることも一方法） <p>4 事後指導（各団体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の後片付け、ゴミの処理 ・人員確認および借用物の確認と事務室、食堂売店への返却 ・評価と反省 			
実 施 上 の 留 意 点	1 研修室の使用などがあるでの、利用前に十分事前打ち合わせをする。 2 制作の進度に差が出るため、時間設定に余裕をもたせる。 3 作り方、用具の使用方法、片付けなど事前指導として「玄海の家」職員が実施する。 4 用具の貸し出し、返却は職員の点検を受けて確実にを行う。 5 物品の購入および支払いは、すべて食堂売店で行う。 6 石は事前に用意しておく方が望ましい。（表面がなめらかな丸石） 7 石拾いにいく場合は、必ず海浜出入口を使用する。			
引率者の役割	用具の管理			
「玄海の家」で準備できる物	水入れ、新聞紙、筆、はさみ			
利用団体で準備する物	石（「玄海の家」前海岸）			
食堂で購入するもの	木工用ボンド、千代紙（70円/人） ※団体持参でも可			